

令和5年6月1日
石川県水産総合センター
内水面水産センター
担当者：戒田、相木
TEL：0761-78-3312

ドジョウの採卵作業について

石川県水産総合センター内水面水産センターでは、本県の伝統的な食文化「どじょうの蒲焼き」の食材であるドジョウが安定供給されるよう、県産ドジョウの養殖拡大に取り組んでいます。

5月上旬から始めた養殖用種苗生産の採卵が現在ピークになっています。

この度、報道機関の皆様を対象に下記のとおり採卵作業の説明及び撮影の機会を設けます。

記

【 採卵作業の概要 】

日 時：令和5年6月7日（水）10時から

場 所：水産総合センター内水面水産センター

内 容：採卵方法は、人工授精法と自然産卵法の2種類で行っています。

採卵作業：当日は以下の作業の様子などを取材していただける予定です

1 採卵前処理

- (1) 採卵2日前に卵成熟の進んでいる雌(全長15cm前後)を選び、産卵を促進させるためホルモン剤を注射します。
- (2) 翌日に再度種類の違うホルモン剤を注射します。

2 採 卵

(1) 人工授精法

- ① 採卵前処理を施した翌日に雌の腹部を圧迫して1尾ずつから卵を搾ります。
- ② 搾取した卵に雄の精巣から搾取した精液と清浄な水を加えて人工授精し、受精卵を得ます。

(2) 自然産卵法

採卵前処理を施し終えた当日に雌と雄を同じ水槽へ収容し、夜間に自然産卵(=自然交配)させて受精卵を得ます。

3 その他

- ・採卵は、7月上旬まで続ける予定です。
- ・受精卵は2日ほどでふ化し、全長約20mmに成長するまで約1か月間育成して、県内のドジョウ生産者へ配布します。
- ・今年度の種苗配布尾数は、昨年度と同じ約20万尾を目標にしています。